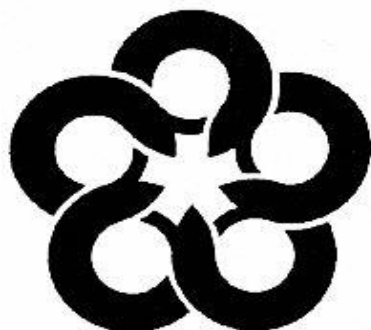


令和5年太宰府市議会第2回定例会

市長提案説明書

(初 日)



令和5年5月31日

皆様、おはようございます。

本日ここに、令和５年第２回太宰府市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変ご多用の中にご参集いただきまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和５年度に入り、私の二期目任期も前半から中盤に差し掛かって参りました。思えば、井上市政から芦刈市政に代わり太宰府市政が動乱期に突入してから８年、ちょうど市長二期分となります。そろそろ本来の太宰府市役所のあり方に戻すべき点もあろうかと考えております。

そうした思いから、副市長職を市職員出身者に戻したうえで、新たに副市長部長会議をスタートさせました。毎週月曜朝から副市長が全体を総括して全部長と共に先週までの振り返りを行い、今週以降の職務の進め方を決めて行くものです。この結果は三役会議で共有し、必要であれば修正を加えます。

年度始めにも辞令交付式や全職員一斉メールで触れましたが、

市役所というものが実に70年前から巨匠黒澤明監督の「生きる」でも指摘されているような縦割りで旧態依然の自分本位なものではなく、職員自発的に機動的で柔軟性のある市民本位なものとなるような取組を進めて参ります。

そうしたなかで、各種施策につきましても着実に結果に繋がっております。準備を進めて来ました世界のチョーヤと令和の都だざいふの奇跡のコラボ梅酒「蝶矢謹製大宰府梅酒」がいよいよ誕生し、ふるさと納税の限定500本の返礼品として年度始めのスタートダッシュに貢献しております。

また、本市が抱える課題の一つに高止まりする保育園の待機児童の問題があり市長就任前は3桁台に達しておりましたが、建替えによる定員増や新たに120人定員の認可保育園の開園も実現したことから、待機児童ゼロを達成することが出来ました。今後もより子育てしやすい環境を整えて参ります。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5月8日から2類か

ら5類に移行しました。福岡県におきまして令和2年2月20日に陽性者が初めて判明してから3年余り、本市では実に88回に渡り対策本部会議を開催し、様々な対策を講じるなど、持てる力を出し尽くして参りました。

その後感染対策を緩和するなかで、先日市内の小中学校の体育会に足を運びましたが、お天気にも恵まれ、コロナ禍前になり近づいた形式で子どもたちがのびのびと走る姿は何よりのことでした。なお、今後の感染対策につきましても、国及び県における感染対策に準じ対応してまいります。

また、本市への観光も客足がかなり戻って参りました。太宰府天満宮も仮殿が完成し、新たな話題となっております。加えてポケモンGOとの連携で本市の41か所が九州で初めてポケストップに認定されました。今後も令和の都「だざいふ」の取組を進め、観光の回遊性向上に努めます。

その他、姉妹都市韓国扶餘郡よりパク郡守が初めて本市に来

訪し、更なる交流強化をお約束しました。また、県市長会副会長として中ブロック会議の主催や役員会議への出席、九州市長会で沖縄を訪問するなど、自治体間交流もコロナ後を見据え主体的積極的に進めております。

一昨日例年より早く九州北部も梅雨入りし、季節はずれの大
型台風も発生、地震も頻発するなか、災害への備えにも力を入
れております。梅雨入り前に消防、警察、自衛隊の方々と災害
危険箇所の視察を、今週末には職員災害対応机上訓練を行いま
す。関係機関とも緊密に連携し万全を期して参ります。